



子ども朝活プログラム

校長 伊藤 栄司

ようやく涼しい秋風が吹き、秋の訪れが感じられるようになりました。9月当初、暑さ指数(WBGT)が31を上回る日が多く外遊びを禁止していましたが、中休みも昼休みも校庭に出て存分に体を動かすことができました。10月25日の運動会に向けて、校庭で表現運動や短距離走の練習をたくさん行います。気持ちの良い秋空の下、体力向上・健康保持をめあてに体を鍛える10月になるよう指導していきます。

朝遊び

昨年度から、毎週火曜日を朝遊びの時間として子どもたちに校庭を開放してきました。本校の開門時刻は8時5分と決められており、それより前に来ても入ることはできません。これまでも、「ピロティで待たせてほしい。」「開門して昇降口で待たせてほしい。」「ご要望をいただくことがありましたが、開門時刻は教職員の勤務時間に関係しており基本的には「8時5分の時刻を守って登校してください。」「とお願いしてきました。」「子どもの頃は早く登校して遊んでいた。」「人がいるのだから良いのではないか。」「等ご意見もありますが、学校としては、万が一の事故を考えると安易に認めるわけにもいかず朝の時間の活用は課題の一つになっていました。

地域学校協働活動

そこに助け舟を出してくださったのが地域学校協働活動推進員の方です。地域学校協働活動は地域の人材を活用した授業や地域での学習など、地域と学校を結ぶことを目的としています。本校は元保護会会長のお二方が推進員を務めてくださっています。お茶の水キッズスポーツ(ミニバス・サッカー・ドッチビー・バレーボール等)の立ち上げや運営にご尽力いただいているので、ご存じの方も多いかと思いますが、地域学校協働活動推進員として地域と学校を結ぶコーディネータとしての役割を担ってくださっています。

昨年、朝遊びについてご相談したところ、快くお引き受けいただき 9 月から毎週火曜日の朝遊びがスタートしました。朝遊びの見守りには地域の方が良いのではないかとのご提案もいただき、地域の方 3 名での見守りが始まりました。

小学校8校への取り組みに～子ども朝活プログラム～

週1回の朝遊びがスタートすると、毎回、60人ほどの子どもたちが参加するようになりました。朝、体を動かしてから学習すると集中力が向上するだけでなく、体力向上にもつながる一石二鳥の活動として始めたところ、「子どもよりも先に勤務に出てしまうので助かる。」「や「兄弟そろって参加できるので良い。」「といった声も聞かれるようになり、予想外の感謝の声も届き実施してよかったと感じました。

様々な効果が期待できることから、取り組みが他校へと広がり今年度10月からは千代田区内小学校全校で実施することになりました。千代田区教育委員会が地域学校協働活動とは別に予算を組んでくださり、新たに2名の方が見守りに加わり週2回実施できるようになりました。名称は管轄が変わったので「朝遊び」から「子ども朝活プログラム」と変更になります。また、他校は週1回から始めるようですが、本校は昨年度からの実績もありますので、火曜日と木曜日の週2回実施することができます。

日中は暑くて外で遊べない、放課後は塾や習い事で体を動かす時間はない等、環境や生活スタイルの変化によって子どもたちの遊びたいとの気持ちを叶えてあげられない傾向にあります。火曜日と木曜日は7時45分から校庭で自由に遊ぶことができるので、是非、朝活プログラムに参加するようお声掛けください。雨天時は図書室で静かに読書をしてもらいますので、雨の時も火曜日と木曜日は時間を守って登校させてください。